平成30年度　指導と評価の年間計画

（大阪府立西淀川高等学校　全日制の課程　普通科）

科目（教科）	単位数	学年	教科書名（出版社）	副教材名等（出版社）
書道Ⅲ(芸術)	2	3	書道Ⅲ（教育出版）	ペン習字の基礎(教育図書)

担当者より	書道の授業は、主に毎時間毛筆を用いて行います。 また二学期には大作の制作、三学期には紙漉きも行います。 いずれの課題も提出作品はもとより、意欲的によりよい作品を制作しようとする態度も重視します。積極的に取り組む姿勢を期待します。

到達目標 【学習指導要領】	書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

評価の観点	観点の趣旨	評価方法
①書への関心・意欲・態度	・書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	観察（取組状況） 教材プリント 提出作品
②書表現の構想と工夫	・書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	観察（取組状況） 教材プリント 提出作品
③創造的な書表現の技能	・創造的な書表現をするために、基礎的な能力を活かし、効果的な表現の技能を身につけ表現している。	観察（取組状況） 教材プリント 提出作品
④鑑賞の能力	・文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書美を創造的に味わっている。	観察（取組状況） 教材プリント 提出作品

学期	単元・教材名	評価のポイント					指導と評価	評価方法
		①	②	③	④	—		
1学期	創作 （漢字仮名交じりの書Ⅲ、少字数）	○		○			・これまでに学習した技法を活かし、自作の文句(今年の抱負)を作品化	観察（取組状況） 提出作品
		○	○				・作品効果が上がるような表現の工夫	
		○	○		○		・大きさの違う紙に紙面構成を考えての表現	
	漢字の書の学習 （元顕儁墓誌銘）	○		○	○		・漢字の書体の変遷とそれぞれの特徴について再確認	観察（取組状況） 提出作品
		○		○	○		・各自が古典について、より理解を深める	
	漢字の書の学習 （祭姪稿）	○		○	○		・豊かで変化に富む線質や文字構成を学習	観察（取組状況） 提出作品
		○		○	○		・いろいろな表現方法や形式、表現効果を探り、書を愛好する心情を高める	
2学期	創作 （漢字仮名交じりの書Ⅳ、多字数）						文化祭に向け、作品を制作。書道Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの学習を基に、	観察（取組状況） 教材プリント 提出作品
		○	○				(1)詩文の選定	
		○	○				(2)表現意図の明確化	
		○	○	○			(3)表現方法の検討、作品の形式、用具・用材・用筆・構成	
		○	○	○			(4)半紙に草稿	
		○	○	○			(5)画仙紙にまとめる	
		○			○		(6)完成作品の相互評価	
	展覧会	○					・文化祭で書作展を開催	観察（取組状況）
		○			○		・書の鑑賞能力を高めながら、書を愛好する心情を育成	
	創作 （漢字仮名交じりの書Ⅴ、多字数）						書道Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの学習を基に、	観察（取組状況） 提出作品
		○	○				(1)詩文の選定	
		○	○				(2)表現意図の明確化	
		○	○	○			(3)表現方法の検討、作品の形式、用具・用材・用筆・構成	
		○	○	○			(4)半紙に草稿	
3学期		○	○	○			(5)自ら漉いた紙にまとめる	
		○			○		(6)完成作品の相互評価を行い、貼交ぜ額を制作し、装飾も施す	